大 本 堂



現在の大本堂は昭和43年(1968年)に建立されました。

大本堂は歌舞伎座、吉田茂邸、明治座等を設計された数奇屋造りの第一人者 吉田五十八(いそや)氏設計による。昭和を代表する仏教建築物です。

日本一の広さの大本堂 間口 95.4m、奥行 59.9m、棟高 32.6m 20 間 x20 間 堂内は 360 畳の広さがあります。 建築施工は大林組 (浅草の浅草寺は 19 間 x 19 間) 堂内正面の須弥壇上には御本尊の「大聖不動明王像」を中心に

向かって左側には制多迦(せいたか)童子、右側には衿迦羅(こんがら)童子の二童子を、 別壇の左右には大威徳明王・軍荼利明王・降三世明王・金剛夜叉明王の四大明王が、 又正面左右壁面には平成大曼荼羅などが奉安されています。

平成大曼荼羅(1998年・平成10年仏画家・松尾栄画伯の作) (耐久性300年)

毎朝5時30分(10月~3月は6時)に行われる朝護摩をはじめ一日数回行われる御護摩ご祈祷に多くの方が、家内安全・商売繁盛・交通安全など様々なお願い事を御本尊の不動明王に祈願しています。成田山の本堂は過去幾度も災い(7回の火災)に遭っていますが、その都度再建されています。現存する最も古い時代の本堂は、表参道の中程にある「薬師堂(1655年建立)」です。境内には「光明堂(1701年建立)」と「釈迦堂(1858年建立)」そして現在の大本堂と全部で3つの新旧本堂があります。現存している本堂は飛び地にある薬師堂を含めて全部で4つです。御護摩祈祷の時間を確認して堂内に入ることをお勧めいたします。誰でも自由また無料です。

御護摩祈祷時には、下記3つの事を行いましょう。

御火加持(おひかじ)

お不動様の御霊徳をいただく。

御真言を唱える

不動明王の御真言を7回ほど唱えます。

御手綱参拝 (おてずなさんぱい)

お不動様の 左手に結ばれた五色の綱を触る事により、お不動様と一体となり、堅くご縁を結んでいただき、ご利益を授かる参拝です。